

保護者の皆さんへ

お子さんの

学 力 向 上

学びを
支える
スクラム

のために
大切なこと

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を、共に創っていきたい。

そうした願いが込められている学習指導要領の趣旨を実現するために、東京都教育委員会では、小学校第4学年から中学校第3学年までの児童・生徒を対象に「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を実施し、子供たちの学習意欲や学習の進め方など、学びに向かう力等に関する意識を把握し、分析しています。

各学校では、この調査結果を活用し、子供たちの学習に関する意識の状況を明らかにし、日々授業改善に取り組んでいます。

この「お子さんの学力向上のために大切なこと」では、調査結果を踏まえ、お子さんの学習や生活について御家庭で取り組んでいただきたいことを紹介しています。ぜひ御活用いただき、お子さんの学びへのより一層の御支援をお願いいたします。

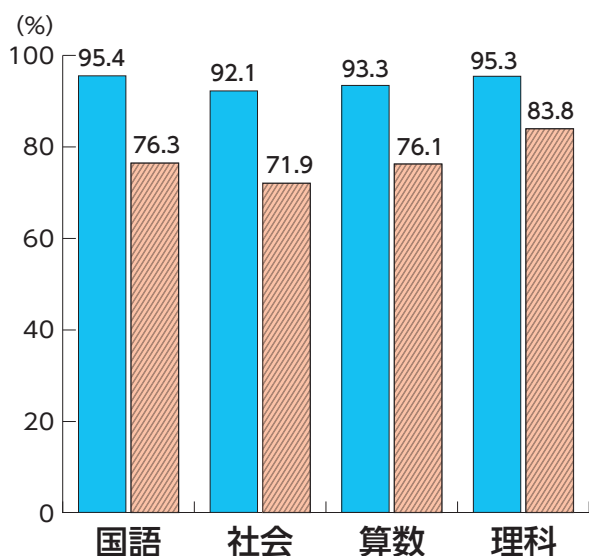
令和4年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」 児童・生徒調査の結果から

※小学校第4学年から第6学年までの児童の回答結果をまとめたもの

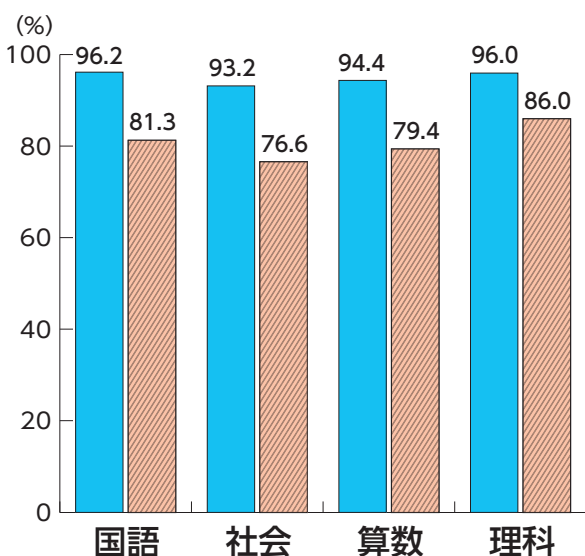
次のように学習を進めている児童は、授業の内容を分かると感じる傾向がみられます。

- ◆ 大切な言葉や公式などは、意味を理解して覚えるようにしている。
- ◆ 問題の答え合わせをするときに、答えが合っているかどうかだけでなく、その問題の考え方も確かめている。

大切な言葉や公式などは、意味を理解して覚えるようにしていることと授業の理解の程度との関係



答えだけではなく、考え方も確かめながら学習していることと授業の理解の程度との関係



■ その学習の進め方をしている児童のうち、授業を分かると感じている児童の割合
 ■ その学習の進め方をしていない児童のうち、授業を分かると感じている児童の割合

※ その学習の進め方をしている児童……それぞれの学習の進め方について、「当てはまる」又は「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童

※ その学習の進め方をしていない児童……それぞれの学習の進め方について、「当てはまらない」又は「どちらかといえば当てはまらない」と回答した児童

※ 授業を分かると感じている児童……各教科の授業の内容について、「よく分かる」又は「どちらかといえば分かる」と回答した児童

家庭で学習するときも、大切な言葉や公式の意味を理解して覚えたり、テストで間違えた問題を振り返って、その問題の考え方などを確かめ、理解したりすることが重要です。昨年度(令和3年度)の調査結果でも、同様の傾向がみられました。お子さんの学習の様子を見て、自分で効果的に学習を進められるように、声を掛けてみましょう。



次のページからは、お子さんが、効果的な学習の進め方を身に付けられるように、家庭で取り組むことができる支援の例を紹介します。

〔調査の結果〕

ア「ろくが」の正答率

東京都(公立)	全国(公立)
67.5%	65.2%

イ「はんせい」の正答率

東京都(公立)	全国(公立)
61.9%	58.7%

ウ「したしむ」の正答率

東京都(公立)	全国(公立)
67.8%	67.1%

これらの調査結果から、漢字を文や文章の中で使うことに課題があることが分かりました。

漢字の学習において、どのように学習を進めることが大切なのかでしょうか。

〔令和4年度全国学力・学習状況調査〕小学校国語 3 三の問題

島谷さんは、習っている漢字がひらがなになっていた。次の部ア、イ、ウを漢字に書き直すことにしました。

南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をアろくがして、各学級にしようかいしたそうです。

正答…「録画」 誤答例…「緑画」など

そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをはんせいしました。

正答…「反省」 誤答例…「反成」、「反生」など

運動が苦手な人もしたしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいしたいです。

正答…「親(しむ)」 誤答例…「下(しむ)」など

テストやドリルで間違えたときには間違えた漢字を学習し直し、学習内容を定着できるようにすることが大切です。その際、漢字辞典等を活用するなどして、漢字の部首を考えたり、漢字の意味や使われている熟語などを確かめたりすることができるように、声を掛けてみましょう。

漢字のテストで、「録」という漢字を間違って「緑」と書いてしまったよ。

「録」という漢字と「緑」という漢字は、形が似ているから間違いやすいね。保護会合のとき、担任の先生が、「漢字を学習するときは、その漢字の意味を調べたり、その漢字が使われた言葉を集めたりして覚えることも大切です。」とおっしゃっていたよ。

間違えた「録」という漢字を、漢字辞典で調べてみるね。「ロク」と読めるから、「音訓さくいん」で調べよう。

〔漢字辞典の記載例〕

金 - 8 画
録
16 画
4 年
訓 音 ロク

意味 ①書きしるす。書きしるしたもの。

②音声や形を、うつしとる。

【録音】ろくおん CDやハードディスクなどに、音や声などを記録すること。

【例】インタビューを録音する。

【録画】ろくが 映像をDVDやハードディスクなどに、記録すること。

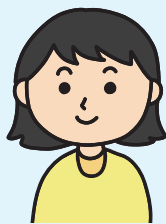
【例】テレビドラマを録画する。

熟語 記録・語録・採録・住所録・収録・新記録・図録・登録・備忘録・付録・目録

録音、録画、記録、住所録…。「録」という漢字がつく言葉は、「何かを書きしるす。」とか「何かをうつしとる。」というような意味のものが多くて分かったよ。調べたことをノートにまとめてみよう。

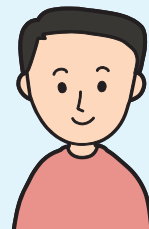
〔フートの例〕

意味	録	音読み	訓読み	画数	部首
①書きしるす。書きしるしたもの。	録	ロク	ロク	十六画	かへん
②音声や形を、うつしとる。	録	ロク	ロク	十六画	かへん
集めた漢字	録	ロク	ロク	十六画	かへん
記録、語録、採録、住所録、収録、新記録、登録、付録	録	ロク	ロク	十六画	かへん



ええと…、学校で勉強したんだけど…。

漢字の読み方が分かるときは、「音訓さくいん」で調べられるね。読み方が分からないときも、漢字辞典で調べることができるの？



学校で勉強したのなら、教科書に漢字辞典の使い方がのっているんじゃない？確かめてみたら？

●「総画さくいん」
漢字の読み方も部首も分からないときは、「総画さくいん」で調べましょう。
「総画さくいん」では、総画数の少ない順に漢字がならんでいて、どの漢字がどのページに出ているのかが分かるようになっています。

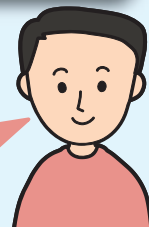


●「部首さくいん」
漢字の部首が分かるときは、「部首さくいん」で調べましょう。
「部首さくいん」では、部首が画数の少ない順にならんでいて、その部首のページを開くと、同じ部首の漢字が画数順にならんでいます。

漢字辞典の「さくいん」の使い方が分かると、どんな漢字も調べられるね。漢字辞典を使って漢字のことをくわしく調べると、その漢字のことがよく分かるようになったよ。

漢字の部首の意味を考えたり、その漢字が使われている熟語を確かめたりすると、しっかりと覚えられそうだな。

手紙を書くときなど、ふだんから習った漢字を使うといいね。



漢字の学習では、同じ漢字を繰り返し書いて覚えることにとどまらず、漢字の部首の意味を考えたり、使われている熟語などを確かめたりしながら覚えることも大切です。

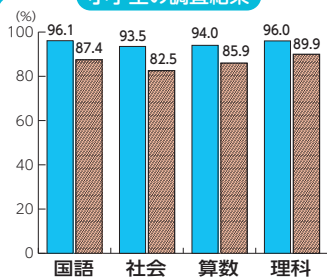
また、漢字を正しく読んだり書いたりするとともに、語彙を広げるためには、辞書を利用して調べる習慣を付けることも大切です。御家庭で、分からない言葉などがあつたときは、「自分で辞書や事典を使って調べてごらん。」と声を掛けてみましょう。

コラム

分からない言葉があつたときは自分で調べる習慣を付けることが大切

学習していて分からない言葉があれば、すぐに調べるようにしていることと授業の理解の程度との関係

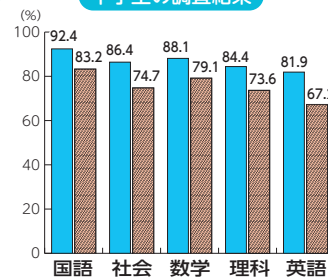
小学生の調査結果



その学習の進め方をしている児童・生徒のうち、授業を分かると感じている児童・生徒の割合
その学習の進め方をしていない児童・生徒のうち、授業を分かると感じている児童・生徒の割合

〔令和4年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」東京都全体の調査結果〕より

中学生の調査結果



小学校では、主に3・4年生において、国語辞典や漢字辞典の使い方について学習します。また、必要なときにはいつでも辞書が近くにあり使えるように様々な工夫をしています。事典の利用については、目的に応じていろいろな種類の事典を選んだり、目次や索引を利用して情報を得たりできるよう指導しています。

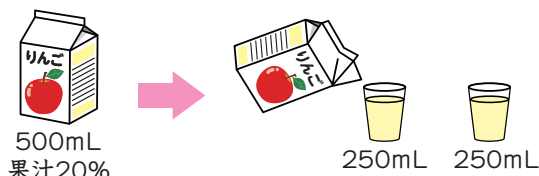


都の学力調査の結果から、「学習していて分からない言葉があれば、すぐに調べるようにしている。」という学習の進め方を行っている児童・生徒は、各教科の授業を分かると感じる傾向がみられることが分かりました。

小学校段階から、分からない言葉や疑問に思った言葉があつたときに、辞書や事典、教科書などを使って調べる習慣を付けることが大切です。

「令和4年度全国学力・学習状況調査」小学校算数[2](3)の問題

りんごの果汁が20%ふくまれている飲み物が500mLあります。
この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250mLになります。



250mLの飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめます。

250mLは、500mLの $\frac{1}{2}$ の量です。

このとき、 ㉞

上の㉞にあてはまる文を、下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

〔調査の結果〕

正答「3」を選択している児童の割合

東京都(公立)

29.1%

全国(公立)

21.4%

誤答「1」を選択している児童の割合

東京都(公立)

62.5%

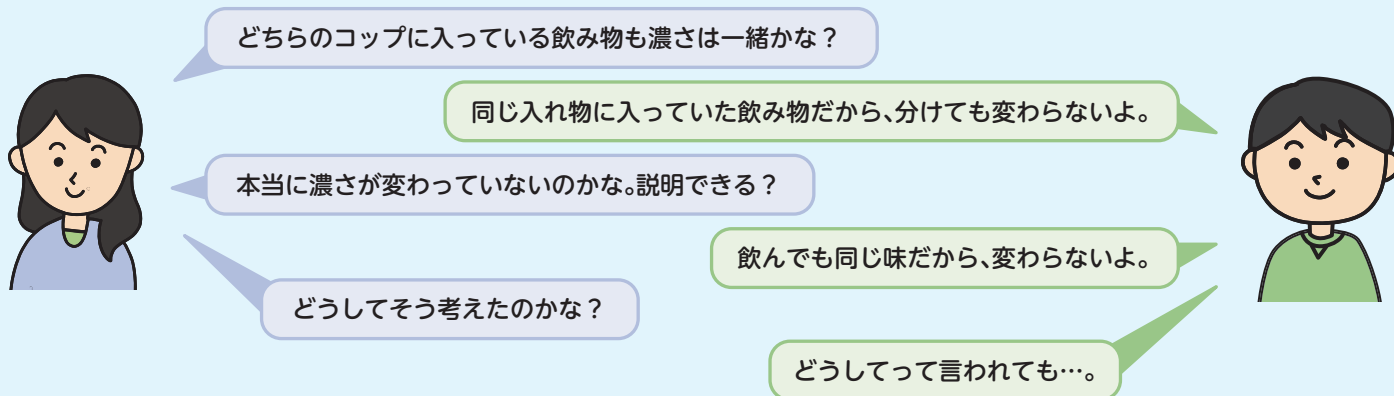
全国(公立)

67.9%

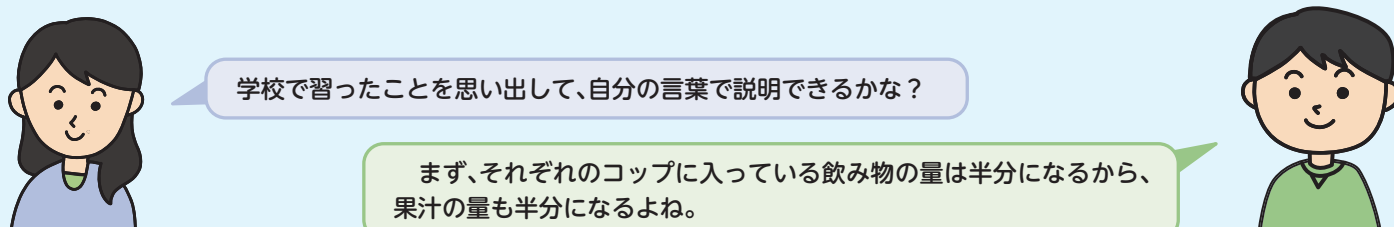
「1」を選んだ児童は、果汁が20%含まれている飲み物を二人で等しく分けたとき、飲み物の量が半分になると、同様に果汁の割合も半分になると誤って捉えていると考えられます。日常の具体的な場面に対応させながら、割合について理解できるようにすることが大切です。

そのためには、**ふだんからどのようなことを意識することが大切なのでしょうか。**

お子さんが、日常の具体的な場面と、学校の授業等を対応させて考えることができるよう、声を掛けてみましょう。



自分の考えを説明できるように工夫して声を掛けてみましょう。





そうだね。例えば、果汁20%の飲み物500mLを半分にしたときは、どう考えられる？

それぞれのコップに入っている飲み物の量は、250mLになるね。果汁の量は…。

果汁20%の飲み物500mLには、どのくらいの果汁が含まれているかな？

$500 \times 0.2 = 100$ で100mL入っているよ。

そうだね。そうしたら、果汁20%の飲み物500mLを半分にしたときは、果汁の量はどうなるかな？

それぞれのコップに入っている飲み物の量は250mLで、果汁の量は半分になるから50mLになるね。飲み物の量に対する果汁の量の割合を求めると、どちらも $50 \div 250 = 0.2$ で、20%になる。ということは、分ける前と後で割合は変わらないから、濃さも変わらないね。



学校で習った言葉で説明できたときには、認めるようにしましょう。また、その言葉の意味を理解していない様子が見られるときは、教科書の索引などで調べるように声を掛けてみましょう。



「濃さ」というのは、学校で習った「割合」という言葉を使って説明できるんだね。「割合」という言葉の意味は分かるかな？

言葉で説明することは難しいな。

教科書の後ろに「さくいん」があるのは知っている？大切な言葉の意味は、そこから調べることができるようになっていよ。

本当だ。今度から、分からない言葉があったら、教科書の「さくいん」で調べてみるよ。

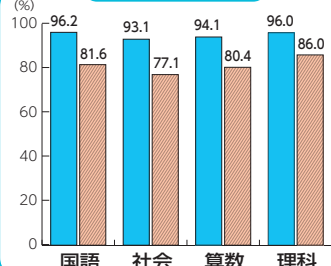


コラム

どうしてそうなのかという理由を考えながら学習することが大切

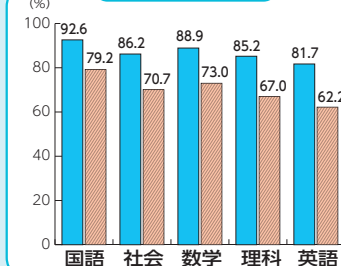
どうしてそうなのかという理由を考えながら学習していることと授業の理解の程度との関係

小学生の調査結果



■ その学習の進め方をしている児童・生徒のうち、授業を分かると感じている児童・生徒の割合
■ その学習の進め方をしていない児童・生徒のうち、授業を分かると感じている児童・生徒の割合
〔令和4年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」東京都全体の調査結果より〕

中学生の調査結果



小学校では、授業で学習した言葉を使って自分の考え方を説明できるように指導しています。他の人に説明する際、算数で学習した表現を使うことによって、自分の考えをより分かりやすく説明できる、と実感できるよう工夫しています。



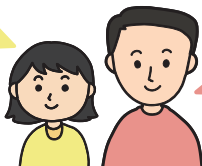
都の学力調査の結果から、「どうしてそうなのかという理由を考えながら学習している。」という学習の進め方を行っている児童・生徒は、各教科の授業を分かると感じる傾向がみられることが分かりました。

また、どうしてそうなのかという理由を説明することは、頭の中が整理され、そのことが本当に理解できているかを確認することにつながります。日頃から自分の考えを誰かに説明する機会を作るようにすることが大切です。

5 お子さんとの会話を充実させるポイント

伝えたい内容を言葉で表現できるようにしたいとき

こんなふう
に似ているもの
の同士をまと
めて、グループ
に分けてみた
んだけど…。



それは、「分類」だね。分類
して、いろいろ
なものを整理
すると、よく分
かるね。

お子さんの伝えようとする気持ちを大切にしながら、話の内容を要約したり、別の表現に言い換えたりするなどして、お子さんが自分の伝えたい内容にふさわしい表現を考えられるようにすることが大切です。

お子さんが伝えようとしていることを受け止め、要約したり、言い換えたりするなど、表現のヒントを示しましょう。

難しい課題を解決できるようにしたいとき

保護者の方が、すぐに解決方法を示すのではなく、解決への見通しをもたせたり、うまくいかない原因を振り返らせたりするなどして、お子さんが自分で解決できるようにすることが大切です。

お子さんの様子を見ながら、解決の見通しをもたせたり、それまでの取組を振り返らせたりしましょう。

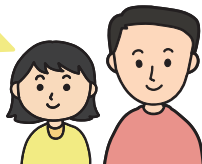
漢字のテスト
で間違えちゃっ
た。何度も漢字
を書いて練習し
たのに…。



次の漢字のテ
ストに向けて、ど
のように漢字の
学習をしたい
かな？

筋道立てて自分の考えを説明できるようにしたいとき

なるほど。三
角形の面積を求
める公式は、「底
辺×高さ÷2」
になるのか。



どうしてそう
なるのかを、も
う一度、自分の
言葉で説明して
ごらん。

保護者の方が納得できたとしても、他の人も同じように納得できるとは限りません。当たり前と思えることでも、理由や根拠を確かめるなどして、お子さんが自分の考えを筋道立てて説明できるようにすることが大切です。

お子さんの考えたことについて、そのように考えた理由や根拠を確かめましょう。

- ☐ お子さんの顔を見て、会話をしましょう。
- ☐ うなずいたり、受け止めの言葉を発したりするなど、積極的に聞いている姿勢を示しましょう。
- ☐ お子さんの話を、最初から否定しないで聞きましょう。
- ☐ お子さんの話を、最後までさえぎらずに聞きましょう。

お子さんが、保護者の方に安心して自分の考えを伝えられるように、左のようなことにも気を付けてみましょう。



令和5年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」のお知らせ

調査実施日 令和5年5月から6月までの間
(詳しくは、後日、学校からお知らせがあります。)

調査対象

都内全公立小学校	第4学年～第6学年
都内全公立中学校	第1学年～第3学年
都内全公立義務教育学校	第4学年～第9学年
都内全公立中等教育学校	第1学年～第3学年

調査内容 児童・生徒の学習意欲や学校・家庭での学習の進め方など、学びに向かう力等に関する意識を調査

調査方法 児童・生徒用のパソコンやタブレット端末を用い、ウェブシステムを通じて回答

右の二次元コード
から、「児童・生徒の
学力向上を図るため
の調査」の結果を閲覧
することができます。

